

(活力を創る) - [戦略3] 地域力を高める～政令指定都市以外の地域振興を重点的に進めます～

(1)現状と課題		(2)概要					(3)施策体系					(4)県民アンケート結果																
<p>過疎地域等では、人口減少や少子高齢化、地域経済の低迷などにより、コミュニティの維持さえ困難な状況があります。このような中、魅力ある地域資源を生かした交流人口の拡大や、ICT(情報通信技術)の活用による地域課題の解決等が求められています。</p> <p>また、政令指定都市誕生による一極集中への不安解消に向け、新幹線開業効果を県内各地域に波及させるとともに、政令指定都市以外の地域振興を重点化し、頑張る地域への積極的な支援を行うことで、県内各地域の活性化を図っていく必要があります。</p>		<p>九州新幹線の全線開業や政令指定都市誕生の効果を各地域に波及させていくとともに、熊本都市圏への人口や経済の一極集中などの不安を払拭し、県内どの地域にあっても、誇りに満ちた暮らしが送れるよう、政令指定都市以外の地域振興に重点的に取り組みます。</p> <p>また、人口減少や高齢化が急速に進み、コミュニティの維持が難しくなっている中山間地域等について、それぞれの地域の現状やニーズを踏まえ、きめ細やかなサポートを強化するとともに、魅力ある資源などを生かしたコミュニティビジネスや都市との新たな交流を生み出します。</p>					<p>◆新幹線効果を各地域へ広める ～新幹線効果の波及による地域振興～ 【担当部局：企画振興部・商工観光労働部・土木部】</p> <table border="1"> <tr> <th>H</th> <th>事業数</th> <th>決算額</th> <th>H</th> <th>事業数</th> <th>予算額</th> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>9</td> <td>3,197,418千円</td> <td>H27</td> <td>9</td> <td>2,977,330千円</td> </tr> </table>					H	事業数	決算額	H	事業数	予算額	H26	9	3,197,418千円	H27	9	2,977,330千円	<p>【満足度】</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>(3位)</p>				
H	事業数	決算額	H	事業数	予算額																							
H26	9	3,197,418千円	H27	9	2,977,330千円																							
★戦略指標[単位]		策定時	H24	H25	H26	目標値	<p>◆都市との新たな交流を生み出す ～地域の魅力ある資源を生かした新たな交流の創造～ 【担当部局：企画振興部・農林水産部】</p> <table border="1"> <tr> <th>H</th> <th>事業数</th> <th>決算額</th> <th>H</th> <th>事業数</th> <th>予算額</th> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>7</td> <td>1,146,280千円</td> <td>H27</td> <td>7</td> <td>1,429,489千円</td> </tr> </table>					H	事業数	決算額	H	事業数	予算額	H26	7	1,146,280千円	H27	7	1,429,489千円	<p>【満足度】</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>(4位)</p>				
H	事業数	決算額	H	事業数	予算額																							
H26	7	1,146,280千円	H27	7	1,429,489千円																							
i	県内の主要な都市農村交流促進施設の年間来訪者数 〔万人〕	531 (H22)	567 <96.1%>	575 <97.5%>	563 <95.4%>	590 〔万人/年(単年)〕	<p>◆スポーツを振興する ～ロアッソ熊本などを生かしたスポーツによる地域活性化～ 【担当部局：企画振興部・教育庁】</p> <table border="1"> <tr> <th>H</th> <th>事業数</th> <th>決算額</th> <th>H</th> <th>事業数</th> <th>予算額</th> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>8</td> <td>79,855千円</td> <td>H27</td> <td>7</td> <td>75,558千円</td> </tr> </table>					H	事業数	決算額	H	事業数	予算額	H26	8	79,855千円	H27	7	75,558千円	<p>【満足度】</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>(7位)</p>				
H	事業数	決算額	H	事業数	予算額																							
H26	8	79,855千円	H27	7	75,558千円																							
ii	新幹線利用者数(新幹線4駅の乗降客数) 〔万人〕	637 (推計値)	657 <98.1%>	698 <104.2%>	708 <105.7%>	670 〔万人/年(単年)〕	<p>◆地域のチャレンジを応援する ～地域づくりへの挑戦に対する支援～ 【担当部局：総務部・企画振興部・農林水産部】</p> <table border="1"> <tr> <th>H</th> <th>事業数</th> <th>決算額</th> <th>H</th> <th>事業数</th> <th>予算額</th> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>4</td> <td>703,188千円</td> <td>H27</td> <td>5</td> <td>915,519千円</td> </tr> </table>					H	事業数	決算額	H	事業数	予算額	H26	4	703,188千円	H27	5	915,519千円	<p>【満足度】</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>(2位)</p>				
H	事業数	決算額	H	事業数	予算額																							
H26	4	703,188千円	H27	5	915,519千円																							
iii	ロアッソ熊本ホームゲーム1試合【補】平均入場者数 〔人〕	6,928 (H23)	5,855 <84.5%>	6,227 <89.9%>	7,002 <101.1%>	前年度の平均入場者数を上回る 〔人(単年)〕	<p>◆県南を活性化させる ～県南振興、「水俣・芦北地域振興計画」及び「ふるさと五木村づくり計画」の取組み強化～ 【担当部局：企画振興部・商工観光労働部・農林水産部・土木部】</p> <table border="1"> <tr> <th>H</th> <th>事業数</th> <th>決算額</th> <th>H</th> <th>事業数</th> <th>予算額</th> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>31</td> <td>7,484,441千円</td> <td>H27</td> <td>32</td> <td>8,055,430千円</td> </tr> </table>					H	事業数	決算額	H	事業数	予算額	H26	31	7,484,441千円	H27	32	8,055,430千円	<p>【満足度】</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>(6位)</p>				
H	事業数	決算額	H	事業数	予算額																							
H26	31	7,484,441千円	H27	32	8,055,430千円																							
iv	地域づくりチャレンジ推進事業(4【補】分野)の実施件数 〔件〕	74 (H23)	57 <71.3%>	69 <86.3%>	114 <142.5%>	80～100 〔件/年(単年)〕	<p>◆地域の生活を支える ～買い物弱者の解消と地域の移動手段の確保～ 【担当部局：企画振興部・商工観光労働部】</p> <table border="1"> <tr> <th>H</th> <th>事業数</th> <th>決算額</th> <th>H</th> <th>事業数</th> <th>予算額</th> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>8</td> <td>1,045,002千円</td> <td>H27</td> <td>7</td> <td>1,118,189千円</td> </tr> </table>					H	事業数	決算額	H	事業数	予算額	H26	8	1,045,002千円	H27	7	1,118,189千円	<p>【満足度】</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>(1位)</p>				
H	事業数	決算額	H	事業数	予算額																							
H26	8	1,045,002千円	H27	7	1,118,189千円																							
		<p>分析 お盆などの繁忙期に大雨が集中したことや野菜の市況価格の低迷などから農村地域への買い物客が減り全体的に利用者数が落ち込んで、前年度比で2%の減となった。</p>					<p>◆情報通信技術を活用する ～情報通信技術(ICT)を活用した地域活性化～ 【担当部局：企画振興部】</p> <table border="1"> <tr> <th>H</th> <th>事業数</th> <th>決算額</th> <th>H</th> <th>事業数</th> <th>予算額</th> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>1</td> <td>4,039千円</td> <td>H27</td> <td>1</td> <td>12,736千円</td> </tr> </table>					H	事業数	決算額	H	事業数	予算額	H26	1	4,039千円	H27	1	12,736千円	<p>【満足度】</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>(5位)</p>				
H	事業数	決算額	H	事業数	予算額																							
H26	1	4,039千円	H27	1	12,736千円																							
		<p>分析 利用者は、新八代駅、新水俣駅においてやや減少したものの、熊本駅、新玉名駅において増加し、全体としては約1.4%増となった。</p>					<p>分析 継続して、サッカー教室等、地域活性化のための活動を行った結果、応援の機運が盛り上がり、ホームゲーム平均入場者数の増加につながった。</p>					<p>分析 複数年の継続支援を可能にしたり、県から地域団体等への直接補助を導入するなど、より使いやすい制度としたことで採択件数の増につながった。</p>																

[戦略3] 地域力を高める

No.	(5)平成26年度の主な成果	(6)問題点(隘路)・課題	(7)平成27年度の推進方針等
<p>施策17</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市町村や地域団体等が行う交流人口の拡大や地域資源の活用の取組を56件支援し、各地で広域的な地域づくりの取組が展開</li> <li>広域や異業種間連携によるおもてなしの取組8件に対して助成を行い、各地域のおもてなしの向上を支援</li> <li>各地域に設置されている地域公共交通に係る会議に参画し、地域の実情に応じた協議を通じてバス路線網再編等が進展</li> <li>観光列車の利用者数を増加させるため、JR九州等とのタイアップによる観光キャンペーンを展開</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各地域の実行委員会等による活動が県民総参加の取組につながるよう、参画を推進することが必要</li> <li>観光事業者、観光ボランティア等とともに、県民総参加でおもてなし力の向上に取り組みしくみづくりが必要</li> <li>交通アクセスの整備は、観光や地域振興等の交流人口拡大のための取組と一体となって進めることが必要</li> <li>観光列車を運行しているJR九州等の交通事業者や沿線地域の理解、協力が必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>支援内容を充実させた地域づくりチャレンジ推進事業等により、引き続き、交流人口の拡大や広域的な地域づくりの取組を支援</li> <li>県民総参加によるおもてなし向上のため、観光関連事業者、ボランティア等を対象にした研修等を実施</li> <li>各地域への公共交通ネットワークの充実強化について、市町村や交通事業者と連携した協議・検討</li> <li>引き続き、観光列車等をテーマとした各種観光キャンペーンを展開</li> </ul>
<p>施策18</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多彩で魅力ある品目を取扱う県内直売所等が大都市圏レストラン等実需者を対象とした売込みを支援し、280品目の取引が実現</li> <li>「くまもとジビエフェア」の開催(32店舗参加)やモニター試食会(2回)等を実施し、県内外の一般消費者のジビエに対する認知度向上を促進</li> <li>コミュニティ・ビジネス起業化(8件)や交流促進(56件)の取組を支援し、廃校を活用した農産物加工所整備や都市農村交流等を促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>消費地のニーズがありながら、継続的な取引に繋がっていない状況にあるため、物流システムの構築が必要</li> <li>ジビエの品質や表示、流通方法等についての供給者と実需者とのミスマッチを解消し、需要の拡大につなげる必要あり</li> <li>新たに芽生えた取組を発展させる仕組みづくりや、農業教育旅行を受け入れる団体(中間支援組織)の担い手の不足</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>既存の流通ルートや新たに構築する産品閲覧システム等により、大都市圏レストラン等実需者を対象に新たな県内直売所等を拠点とした品目の売込みを支援</li> <li>県内外の実需者のニーズに対応した供給ができるよう、生産・流通体制を整備</li> <li>支援内容を充実させた地域づくりチャレンジ推進事業等の活用や、農業教育旅行を受け入れる中間支援組織の確保等の支援</li> </ul>
<p>施策19</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第69回国民体育大会で、3種目で優勝、準優勝8種目を含む66種目で8位入賞と健闘。天皇杯順位(男女総合成績)は24位(3位上昇)</li> <li>2020東京オリンピック育成選手として45名を指定し、その強化を通じ、11名が全国大会で入賞</li> <li>県内で総合型地域スポーツクラブが新たに2団体(熊本市)設立され、計67団体(40市町村)に増加</li> <li>サッカー教室等県民との交流事業等に取り組んだことにより、ロアッソ熊本への応援機運が高まり、ホームゲームの平均入場者数が6,227人から7,002人に増加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>天皇杯順位の上昇(15位以内)をめざして、競技者の競技力強化と併せて指導者の更なる指導力向上を図る必要あり</li> <li>本県から、2020年東京オリンピックにより多くの出場者を輩出するため、計画的な選手育成が必要</li> <li>総合型地域スポーツクラブの普及・定着には、指導面・経営面での人材確保が必要</li> <li>ロアッソ熊本を県民一丸となって支援する気運を高めるため、更に観客動員数を増やす必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツ医・科学分野の先進的なトレーニング法を取り入れた練習会や研修により、県内競技者・指導者の育成を推進</li> <li>2020年東京オリンピックに出場する潜在能力のある競技者を掘り起し、集中的に育成・強化を推進</li> <li>総合型地域スポーツクラブ未設置の4町村に対して、クラブ設立に向けて教育事務所、地元市町村と連携を図り、巡回指導等を実施</li> <li>県民運動推進本部と連携してロアッソ熊本の広報を行い、前年度を上回る観客動員数を確保</li> </ul>
<p>施策20</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「政令指定都市誕生後の県内各地域の将来像」で想定した全6地域で広域連携プロジェクトが実施され、各市町村の協働・連携が進展</li> <li>人吉球磨地域、玉名地域等における定住自立圏形成に向けた支援を実施</li> <li>地方創生に関する市町村支援に取り組むため、支援の総合窓口である「コンシェルジュ」を本庁市町村課とともに広域本部へも設置することとし、一部人員配置の見直しを実施</li> <li>休漁日の設定などを盛り込んだ資源管理計画の作成を漁業者へ指導し、新たに2地区のトラフグ一本釣り漁業で作成され、さらに荒尾地域等でアサリの21件の計画が更新</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>取組の実施にあたっては、事業の掘り起こしと事業主体である市町村の機運をいかに醸成していくかが課題</li> <li>広域で連携する市町村がメリットを共有できる効率的・効果的な行政サービス提供の仕組づくりが必要</li> <li>広域本部体制への移行による県民サービス等への影響については、随時、把握と改善に努める必要あり</li> <li>漁業者が主体となり水産資源を管理する資源管理型漁業や、健全な種苗の放流による栽培漁業の一層の推進が必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>6地域において、ビジョンに掲げた「主な取組みの方向性」を踏まえた取組みを支援するとともに、県境連携の取組を推進</li> <li>各市町村の地方版総合戦略や定住自立圏構想等と連動した広域連携支援事業を推進</li> <li>①広域性、②専門性、③効率性等の観点から、広域本部での集中処理による業務の集約を推進</li> <li>引き続き、休漁日の設定などを盛り込んだ資源管理計画の作成を漁業者へ指導し、資源管理型漁業を推進</li> </ul>
<p>施策21</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業等の農業への新規参入を積極的に支援し、県南地域に3件参入</li> <li>水俣・芦北地域雇用創造協議会が中心となり地域企業を支援し、地域産品の取引拡大や、地域企業の農業参入にあたり共同で出資した株式会社の設立等が実現</li> <li>国の補助事業を活用した水俣・芦北地域への支援により、湯の鶴温泉保健センター改修及び周辺整備、水俣駅駅舎の改修、津奈木川周辺の交流拠点整備等が進展</li> <li>五木の子守唄祭りを新たに完成した「五木源パーク」で初めて開催したほか、バツグンザップの通年開催の開始等アトラクションが進展するなど、水没予定地の利活用が本格化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域経済を活性化するため、核となる農業経営者の育成が必要</li> <li>産業と雇用創造事業について、地域がより一体となった取組へと繋げていく必要あり</li> <li>環境負荷を少なくしつつ、経済発展する新しい形の地域づくりの一層の推進が必要</li> <li>水没予定地を活用した観光・交流の促進と今後整備を予定している施設等の運営体制の構築</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新規参入企業数の目標を達成すべく、各種展示会への出展、パンフレット、チラシ、ホームページ等での情報提供を引き続き実施</li> <li>協議会を中心に、人材育成や起業・業務拡大への支援等により、地域産業及び経済活性化に資する取組を一体的に実施し、地域の雇用創出を推進</li> <li>「環境負荷を少なくしつつ、経済発展する新しい形の地域づくり」を目指す国の補助事業を活用し、引き続き市町が実施する事業への支援等を実施</li> <li>水没予定地に整備を予定している施設等の運営体制の検討、道路改良、歴史文化交流館の詳細設計等の実施</li> </ul>
<p>施策22</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の課題(買い物弱者支援等)をビジネスの手法を活用して解決するコミュニティ・ビジネス起業化の取組(8件)により支援</li> <li>国との協調支援により、三セク鉄道の運行や、広域性・幹線性を有する43路線のバスの運行を維持</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>里モンプロジェクト等により新たに芽生えた取組を発展させる仕組みづくりが必要</li> <li>老朽化が進んだ施設の計画的な整備を含めた鉄道の維持や、燃料高騰等の経費増の中でのバス路線の維持等による移手段の確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>支援内容を充実させた地域づくりチャレンジ推進事業等により、買い物弱者解消のための起業化の取組みや環境整備の取組みを支援</li> <li>国との協調支援により、三セク鉄道の安全運行や、広域性・幹線性を有するバス路線を支援。また、市町村の乗合タクシーの運行等に対する支援を継続</li> </ul>
<p>施策23</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>主要な交通拠点や県有施設(37施設110カ所)に無料公衆無線LAN環境を整備し、海外からの来訪者等の利便性が向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域活性化や地域課題解決に向けたICT利活用の推進にあたっては、県、市町村、企業、団体等の役割分担と連携強化が必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツ等のコンテンツを核とした地域の賑わいづくり等の新たなトライアルの展開により、交流拡大による地域の活性化を推進</li> </ul>